

腰椎後方除圧手術を受けられる患者さんへ

	入院日～手術前日	手術当日（手術室に入るまで）
目標	安心して手術を受けることができる。 装具の必要性が理解でき、確実に装着することができる。	
治療 処置	手術前日は手術部位の皮膚を確認します。 希望者には、眠剤・安定剤の処方があります。	両足に血栓予防のためのストッキングをはきます。
点滴 内服薬	持参された薬を一旦看護師に預けていただきます。 内容によっては手術前に内服を止めていただく場合があります。 手術後は必要に応じて薬を配らせていただきます。	手術前に麻酔を効きやすくする薬を飲んでいただく場合があります。 場合により、点滴をしながら手術室に行くことがあります。
検査	外来で検査していない場合は血液・尿検査・心電図・肺機能・レントゲン・下肢の超音波検査等の検査があります。	
リハビリ	手術前にリハビリを受診します。手術後から本格的なリハビリが始まります。	
安静度	手術当日までは特別な制限はありません。 (痛みの強い時は声をかけて下さい)	特に制限はありません。
食事	特別な制限はありません。 手術前日の夕食までは普通に召し上がって下さい。 飲水は麻酔医が指示します。 (前日の21時までには飲めます)	当日は食べ物は食べてはいけません。 水分(水・お茶)を摂ってもいい時間は、手術開始時間によって異なります。 麻酔科の医師より説明があります。
清潔	手術前日は入浴して下さい。	
説明	担当看護師が、入院生活全般や院内の設備について説明いたします。 手術に際して準備する物品や、手術前日までの身体の準備について説明いたします。 手術を担当する麻酔医と手術部看護師それぞれから手術に際しての説明があります。 担当医から、手術の方法その他について説明があります。 装具を実際につけて体験します。	
その他	手術前日に部屋移動の説明をします。 (4人部屋→2人部屋) ソーシャルワーカーと転院先について話し合いをします。保険関連の入院証明書などの書類は病棟事務員に渡してください。	手術当日の午前中に、部屋の移動を行います。 ご家族が付き添いを希望される場合は、午後4時までに看護師に申し出て下さい。

腰椎後方除圧手術を受けられる患者さんへ

	手術当日（帰室してから）	術後1日目	術後2日目	術後3～7日目	術後8～退院
目標	鎮痛剤を使用し、痛みをコントロールできる。 装具の必要性を理解でき、確実に装着することができる。 安静を守ることができる。		装具の必要性が理解でき、確実に装着することができる。 トイレで排泄することができる。 食事を自立して行うことができる。 座ることができる。	装具の必要性が理解でき、確実に装着することができる。 転倒なく歩行器で歩くことができる。 トイレで排泄することができる。 自分で更衣をすることができる。 座って装具の付け外しができる。	装具の必要性が理解でき、確実に装着することができる。 転倒なく杖で歩くことができる。 日常生活の注意点を理解して、生活が自立しておくれる。
治療処置			創の消毒が始まります。 創の所に入っている管を抜きます。	歩行開始翌日よりストッキング除去します。	
点滴内服薬	持続的に点滴をします。 	朝より、手術前に飲んでいただいていた薬を再開して内服します。 点滴は夕方には終了します。			
検査	血液検査を行います。	血液検査を行います。		術後3,6日目に血液検査を行います。 術後4日目に下肢超音波検査を行います。 術後5日目にCT、レントゲン撮影を行います。	術後10日目に血液検査を行います。 術後8日目にMRI検査を行います。
リハビリ		ベッド上での訓練を開始します。 血栓予防や足の筋力を保つ訓練を病棟で行います。	日曜日・祭日のリハビリはお休みです。 個人で病棟で頑張りましょう。 1日目にリハビリテーション部の応診し本格的に運動を開始します。（立つ練習、歩く練習）		
安静度	手術後はベッド上安静です。 ベッドは30度まで上げることができます。 看護師の介助で横向きになれます。	装具を付けて90度までベッドを上げることができます。 装具を付けて状態に応じてトイレまで歩行できます。 点滴や血抜きの管に注意して下さい。	創の管が抜けたら装具を付けたままベッドに足を垂らして座ることができます。 状態に応じて車椅子に乗ったり歩行器で歩行ができます。		
食事	当日は食べ物は食べてはいけません。	朝、お腹の動きが良ければ（ガスが出れば）水分を摂ったり、食事ができます。 			
清潔		看護師が体を拭きます。		術後3日目から創部にフィルムを貼ってシャワーを浴びることができます。	
排泄	手術室より、尿の管が入って帰ってきます。	排泄はベッドの上で行います。 コルセットをつけて移動ができるようになれば尿の管を抜き、トイレに行くことができます。			
説明	医師より手術についての説明があります。 痛みがある時は遠慮なく声をかけて下さい。			退院や転院の方向性について主治医からの説明があります。 退院や転院を考えて、日常生活動作や運動について説明します。 ・整容（髪をとかす・洗顔ができる・歯磨きができる・衣類を整える） ・トイレ動作が獲得できているか ・一人で移動ができるか ・装具が装着・脱着できるか ・転倒が予防できるか	
その他					退院おめでとうございます！